2021 年 7 月 27 日

●小教区（各グループ）レベルでの具体的活動について

教区代表者会議へ向けての小教区や各グループでの具体的な活動は、選出した代議員を助ける（サポートする）活動をお願いします。

2020 教区代表者会議は、「白浜司教が教区創立 100 周年（2023 年）以降の教区における宣教司牧の目標や優先課題を策定することを助ける」ために開催する会議（諮問機関）です。

すでに 2019 年 11 月からその準備が開始されましたが、その最初の段階で、各小教区に向けて、これまでの宣教司牧活動を振り返るためのアンケートが実施されました。そして、このアンケートの中間報告が、2020 年 6 月の教区宣教司牧評議会へ提示され、全小教区へ通知されました（このことにより「教区代表者会議開催目的①」が達成されています）。

次に、このアンケート結果にもとづいて、2020 教区代表者会議実行委員会が、分科会毎に 2 つの提言素案を準備しました。そして、2021 年 6 月の教区宣教司牧評議会において、実行委員会が作成した提言素案、および地区が提出した提言案が、教区代表者会議で審議されるベースとなる提言案として承認されました。

教区代表者会議のメンバーである代議員は、教区代表者会議当日に、これらの承認された提言案を審議し、司教への提言として「採用する」、「採用しない」という意思表示する義務を負っています。

しかし、評議会で承認された提言案の修正を受け付けないで採決することはなく、むしろ教区や地区の実情、小教区や各グループの実情や社会情勢に合わせて提案されている提言案を修正していく必要があるのです。そのために、提示されている提言案について、代議員を中心にして小教区や各グループでよく分かち合いがなされ、また個々の代議員が、所属する分科会の他の代議員と意見交換して、「教区代表者会議開催目的②」に適合する提言案を、2021 年 11 月 23 日までに仕上げていかなければならないのです。

ただし、教区レベルの提言であるため、提言案に小教区や各グループ個別の宣教司牧課題をひとつずつ列記していくわけにはいきません。そのため、今回の提言案は、その個別課題を包括するような提言になるよう、検討していただければと思います。この調整は、各分科会での審議に委ねられます。

つきましては、小教区や各グループでの具体的な教区代表者会議へ向けての活動は、代議員を助けること（例えば、提言案に対する代議員を含めた小教区民での分かち合いによる代議員への助言、調査研究、情報提供など）をお願いするものです。

特に小教区においては、選出している代議員に対し、主任司祭並びに信徒代表（会長）等によるサポートをお願いしている次第です。

以上

作成：カトリック広島司教区「2020 教区代表者会議」準備事務局